



めいほうかん高校便り

～品川の風～2011年9月 vol.4

■2011 公開フォーラムと講演会「教育と心理的なニーズのある生徒の進路の選択」～進路の選択に備えた一貫性のある指導を目指すには～

日 時：10月22日(土) 正午12時会場受付 12時30分開講
会 場：品川インターシティホールC棟 (JR品川駅から徒歩5分)
電 話：03-3456-2750

公開フォーラム：実践報告者5名、講師：カニングハム久子先生

<実践報告者>

武藤富子氏 発達障害児保護者
坪井久美子氏 特定非営利活動法人パルレ理事長
野口美加子氏 「マイ・ライフ・ブック：私の生活記録」 翻訳者
小賀友子氏 明蓬館高等学校副校長
中島規至氏 明蓬館高等学校 特別支援教育コーディネーター



参加費：1,000円 ※当日会場にて承ります

定 員：100名 (先着順です)

プログラム：12：30-14：30 実践報告者5名による公開フォーラム
14：30-15：30 カニングハム久子先生講演会

<事務局>アットマーク明蓬館高等学校 品川キャンパス
〒141-0001 東京都品川区北品川 5-12-4 山泉ビル3F
TEL：03-3449-7904 / FAX：03-5423-2813 / e-mail：soudan@at-mhk.jp
担当：小田、新田

■実践報告者

武藤富子氏 発達障がい児保護者
小中生2児を学校や専門家と連携のもと家庭中心で育てています。どの子ども安心して地域社会の中で成長できる社会をめざしています。

坪井久美子氏 特定非営利活動法人パルレ理事長
品川区よりの委託を受けて発達障害思春期サポート事業を実施しています。

野口美加子氏 「マイ・ライフ・ブック：私の生活記録」 翻訳者
本人、支援者らが一緒に作る「マイ・ライフ・ブック」の普及を訴えています。

小賀友子氏 明蓬館高等学校副校長
家庭児童相談員や民生委員らと協力して発達障がい者の学習を支援しています。

中島規至氏 明蓬館高等学校 特別支援教育コーディネーター
臨床心理士として、学習とコミュニケーションの支援に従事しています。

参加申し込みはこちらからどうぞ。
<http://www.at-mhk.jp/event.html>

■朝日新聞厚生文化事業団・自閉症カンファレンス NIPPON 実行委員会
自閉症カンファレンス 2011 で発表 2011年8月27日

当校の 特別支援教育コーディネーターである中島規至氏がカンファレンスにおいてポスターセッションに登場しました。



■職員の自己紹介 池なほさん

品川キャンパス長の池なほです。「なほ」とは上代語で「平凡」という意味です。有名にならなくても、平凡に毎日過ごし



てほしいという願いが込められています。品川所属生担任の他に、図書部顧問も務めています。多岐にわたる部員の趣味を反映して、本・映画・ゲーム・イラストの部屋まで開設しています。普段会えない生徒同士と交流でき、何かを始めるきっかけにもなる図書部に、みなさんの入部をお待ちしています。

～理事長から 日野公三～

明蓬館高校本校近隣に立つ校章のサインです。本校スクーリングの際に、全国から集まる生徒達に授業の一環としてつくっています。生徒達は自分がつくった校章の風車が無事回っているか、いたずらされていないか、気が気ではない生徒もいるでしょう。このようなサインが町のあちこちに立っています。地域との方々との交流の手段にもつながっているように思います。いずれ大小 様々な校章のサインが筑豊、福岡、九州、そして首都圏でも見られるようになること でしょう。そのときが楽しみです。

～福岡県主催「女性の翼」プログラムに選ばれる～

小賀友子副校長が、福岡県主催「女性の翼」プログラムに応募しておりましたが、二次面接の結果、団員に選ばれました。女性の翼プログラムとは、地域での男女共同参画の活動の推進役となる女性リーダーの育成を目的として、国内外の先進地を訪問し見識を深めるものです。先生はデンマークとスウェーデンで女性や障がい者の地位の向上のためのいろいろな取り組み、高校の特別支援教育や職業教育のプログラムを学んできたという抱負を語っておられます。旅費は個人負担ですが、滞在費などは県が負担します。渡航の日程は11月13日(日)から20日(日)までです。

■今月の珈琲「高校生の職業訓練校 A. Warren McClaskey Adult Center」 校長 成田 滋

カリフォルニアの州都サクラメントに発達障がい者の成人教育機関、A. Warren McClaskey Adult Center という職業訓練教育機関があります。高校教育の延長となっていて、生涯教育施設ともいわれています。アメリカでは幼児教育から職業訓練にいたる教育は全て教育委員会の管轄です。ほとんど無料でこうしたサービスを受けることができます。

発達障がい者も通常の高校で学習するのですが、それだけでは職業上の自立に至らない場合が多いのです。そのためこうした訓練機関が存在します。このセンターに行きますといろいろな訓練プログラムを観察できます。例えばレストランのウェイターやウエイトレスになるための訓練です。清潔な服装、テーブルの用意、あいさつの仕方、座席への案内、注文の取り方、サービスの声かけ、チップの受け取り方、レジの扱い方などなど興味ある訓練を受けています。私もテーブルに座らされて訓練に参加し、おかげで無料の昼食をいただきました。生徒の対応も堂にっていました。もちろんチップも渡して帰りました。



■品川の今昔 その3 土佐藩浜川砲台跡



京浜急行立会川駅を降りて立会川商店街を通り過ぎると「しながわ百景 53 番」の一つ「立会川河口堤防船だまり」に土佐藩浜川砲台跡があります。浜川橋のたもとから立会川が海に注ぐところです。このあたりは、かつて土佐藩抱屋敷となっていました。土佐から送られてくる物資を揚げていたといわれます。ペリーの来航の翌年嘉永7年に土佐藩はここに砲台を造ります。これが浜川砲台です。当時砲台は八門を設置していたといわれます。

現在、この砲台跡には誠に貧弱な記念碑が立っただけです。まわりはコンクリートの塀や建物です。若き坂本龍馬も砲台の警備陣に加わって毎日歩いていたといわれる所にしては実に情けない姿です。品川区に改善を求めたいです。



■ “大震災は忘れないうちにやってくる”

大規模地震災害に備えての情報連絡および対応体制について その3

東日本大震災に際しては、交通機関の運転停止により生徒や職員が「帰宅困難者」となりました。今後もこうした災害が発生する可能性がありますので、次のような緊急災害時の連絡体制を作りました。携帯に登録しておいてください。

- ・ 共同の携帯用緊急災害時連絡掲示板 <http://at-learn.co.jp/em/>
- ・ 緊急連絡用メールアドレス 品川キャンパス info@at-mhk.jp

～第3回スクーリング・アルバム 川崎本校にて～

平成23年7月25日～28日



編集後記

残暑お見舞い申し上げます。久しぶりに家族と再会しました。孫4人も下は5歳から上は10歳まで元気で成長している姿に思わず相好がくずれました。周りを見わたしますと、児童虐待など子どもの人権問題が懸念されています。同時に高齢者の増加に伴う孤独な生活や介護など家族の在り方も社会問題となっています。家族、コミュニティ、社会が互恵的な教育や福祉を持続し、すべての人が「生きること」を成就できるような社会をどうしたらつくれるかです。(成田)